

## 23. カワウ営巣状況調査

- 1 担 当：福本 一彦（生産技術室）山川 歩<sup>\*1</sup>・平田 滋樹<sup>\*1</sup>・大西 良幸<sup>\*1</sup>（<sup>\*1</sup> 生産振興課）  
・前田 浩行<sup>\*2</sup>（<sup>\*2</sup> 公園自然課）・福井 利憲<sup>\*3</sup>（<sup>\*3</sup> 水産課）
- 2 実施期間：平成21～24年度
- 3 目 的：カワウによる水産有用種の捕食被害実態や植生被害実態、カワウの生息実態について把握し、カワウによる水産被害、生態系被害を軽減を図る。
- 4 事業展開フロー

営巣状況調査  
(H21)

胃内容物調査  
生息実態調査  
(H22～24)

カワウによる水産被害、生態系被害の軽減

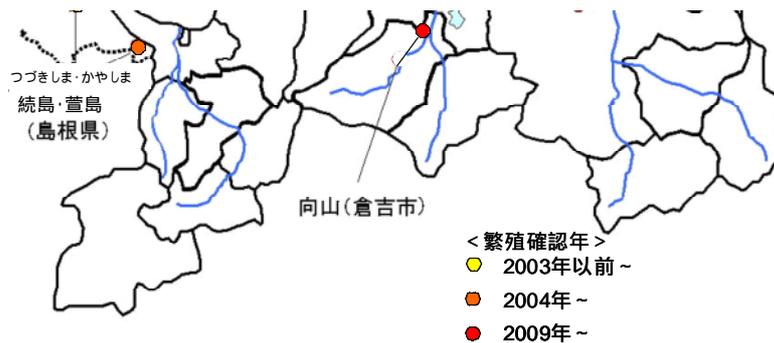


図1. カワウ営巣状況調査地点

## 5 取組の成果

### (1) 目的

鳥取県におけるカワウの営巣状況等について把握する。

### (2) 方法

県関係機関や地元漁協，鳥取市，倉吉市からの情報に基づき、2009年5月20日に湖山池団子島，同年5月22日に倉吉市向山において，関係機関とともにカワウの営巣状況を把握した。また，同年5月14日に（財）中海水鳥国際交流基金が実施したカワウ標識調査に同行し，中海に位置する萱島において営巣状況，食性等を調査した（図1）。

### (3) 結果

#### 湖山池団子島

団子島南側の樹上において6巣が確認され，各巣内には幼鳥が1羽ずつ確認された（図2）。巣の下は糞により樹木が枯れ（図3），土壌が流出していた。



図2. 団子島におけるカワウの巣および幼鳥



図3. 巣の下では糞が植物に堆積

#### 倉吉市向山

本調査地では6巣が確認され，各巣内には幼鳥が1または2羽確認された（図4）。巣の下では林床に糞が堆積し，植生が衰退しつつあった（図5）。



図4. 向山におけるカワウの営巣状況



図5. 巣の下は糞が林床に堆積

ノシロ(上), オヤニラミ, ムギツク(左), ドンコ(右)

以上のように, 鳥取市湖山池, 倉吉市向山でカワウの営巣が初確認され, 営巣地の植生も衰退しつつある状況が確認された.

#### (4) 残された問題点及び課題

- ・被害発生現場へのカワウの飛来数の把握
- ・営巣状況把握
- ・胃内容物把握
- ・カワウによる水産有用種の捕食被害量推定

#### 中海萱島

本調査地では複数の巣が確認され, 巣内には2-3羽の幼鳥が確認された(図6).

幼鳥および成鳥から吐き出された魚類を調べたところ, コノシロ, オイカワ, オヤニラミ, ムギツク, ドンコ, コイおよびヒラメが確認された(図7).



図6. 萱島における営巣状況



図7. カワウ成鳥および幼鳥から吐き出されたコ